

拝啓 先生方におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび弊社では『大塚 Live on Nutrition Seminar』を行うこととなりました。大塚 Live on Nutrition Seminar は、輸液・栄養療法に関する専門医の講演をWebを介して、先生方のご施設においてライブでご覧いただくシステムです。

ご多忙のこととは存じますがこの機会にぜひご覧いただけますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

## 「高齢者医療におけるサルコペニアの重要性」 ～多職種で取り組む評価・適切な栄養療法～



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター  
病院長 荒井秀典 先生

略歴 昭和59年3月 京都大学医学部卒業  
昭和59年6月 京都大学医学部附属病院内科勤務  
平成3年3月 京都大学医学部大学院医学研究科  
博士課程(内科系専攻)修了  
平成5年7月 カリフォルニア大学サンフランシスコ校  
ポストドクトラルフェロー  
平成21年4月 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授  
平成30年4月 国立長寿医療研究センター 病院長

2019年3月19日(火) 18:30 ~ 19:15

再放送: 3月27日(水)、4月3日(水)、4月11日(木)

会場:

### 講演要旨

厚生労働省の統計によると、高齢者の要介護原因の1位は認知症、2位は脳卒中、3位は加齢による衰弱とされています。この衰弱にはサルコペニア・フレイルといった病態が関連しており、臨床現場において問題となっています。周術期では術後合併症の発症率や死亡率の増加との関連があるといわれ、慢性期ではリハビリテーションを行う脳卒中、大腿骨近位部骨折、廃用症候群などの疾患に好発するといわれています。サルコペニアはいずれも高齢者医療においては重要な概念であり、介入可能な病態です。今回の講演では、サルコペニアの評価、適切な栄養療法について解説していただきます。

※質疑応答の時間を設けておりますが、システムの関係上、全ての質問にお答えできない場合がございます。ご了承ください。

※Live on Nutrition Seminar は弊社の機材を使用して講演をご覧いただくシステムです。